

## 福井県におけるハクチョウ渡来地の 分布と環境について

林 哲\*

Distribution and Environments of Eastern Bewick's  
Swans *Cygnus columbianus*, and Whooper Swans  
*Cygnus cygnus*, observed in Fukui Prefecture.

Tetsu HAYASI

Fukui Prefectural Wildlife Protection Center,  
Wakisanga-cho, Fukui-shi, Fukui 910-21.

### はじめに

毎年、初冬に遠いシベリアの北国から渡来するハクチョウは、冬の風物詩の1つと言えよう。本県では、毎年、ハクチョウが定期的に渡来する場所はないが、少数の群れが不定期に訪れる。古代における福井県では、相当数の群れが渡来し、越冬していたと推察されるが（芦野、1981 本田、1979），古代から近代の間にハクチョウの好適な棲息地（湿地や湿原等の水辺環境）が消失させられ、ハクチョウ渡来数が著しく減少したものと考えられる。

一般的に、ガン・カモ類やハクチョウ類などの水鳥は湿原・湿地などの水辺環境に依存しており、これらの環境保全によって水鳥が増え、ハクチョウも定期的に渡来するようになるであろう。

本報告は、県内で確認したハクチョウ類の渡来地域を分析し、その環境保護を指向してまとめたものである。

本報告が、福井県におけるハクチョウ類保護、ひいては水鳥保護の一助となれば幸いである。

なお、本報告をまとめるにあたり、榎本二郎・林尚平・池崎和男・岸田肇・小島政治・組頭五十夫・門前孝也・大沢幸雄・関泰明の各氏にご協力いただき御礼申し上げる。

### 調査方法および調査時期

調査は、聞き取り法と記載資料（日本野鳥の会福井県支部報その他）を集録する方法で行い、(1)確認年月日、(2)種類、(3)羽数、(4)群れの構成、(5)確認地籍、(6)確認者氏名、(7)その他の項目に分けて整理し、これを分析資料とした。

調査期日は、主として1960年以降の約20年間のものとし資料を収集した。

なお、同じ群れと推測できても確認月日の異なる日の観察例については、それぞれ1件として扱

\* 福井県鳥獣保護センター

い資料とした。

### 調査の結果

#### (1) ハクチョウの種類

調査の結果、34件の資料を得たが、このうちコハクチョウ25件(73.5%)、オオハクチョウ6件(17.6%)、その他(不明のハクチョウ)を認めることができた。したがって、本県におけるハクチョウ類は、コハクチョウが多いと推察された(表1)。

Table I Swan observed in Fukui Prefecture  
(1960 - 1983)

Species	Number	Percentage
Eastern Bewick's Swan	25	73.5
Whooper Swan	6	17.6
Swan sp. ( Unknown)	3	8.8
Total	34	100.0

#### (2) 市町村別の分布

34件のうち、三国町10件(29.4%)、三方町8件(23.5%)、福井市4件(11.8%)、鯖江市3件(8.8%)、その他敦賀市、勝山市芦原町、清水町、丸岡町、南条町の10市町で確認された。このうち嶺南地方では、三方町と敦賀市の2市町のみで、嶺北地方(8市町)にハクチョウ類の分布の集中が認められた(図1.表2)。

Table 2 Places and numbers of Swan observed in Fukui Pref., 1960-1983.

Place	Number	Percentage
Mikuni	10	29.4
Mikata	8	23.5
Fukui	4	11.8
Sabae	3	8.8
Awara	2	5.9
Katsuyama	2	5.9
Tsuruga	2	5.9
Nanjo	1	2.9
Shimizu	1	2.9
Maruoka	1	2.9
Total	34	100.0

福井県におけるハクチョウ渡来地の分布と環境について

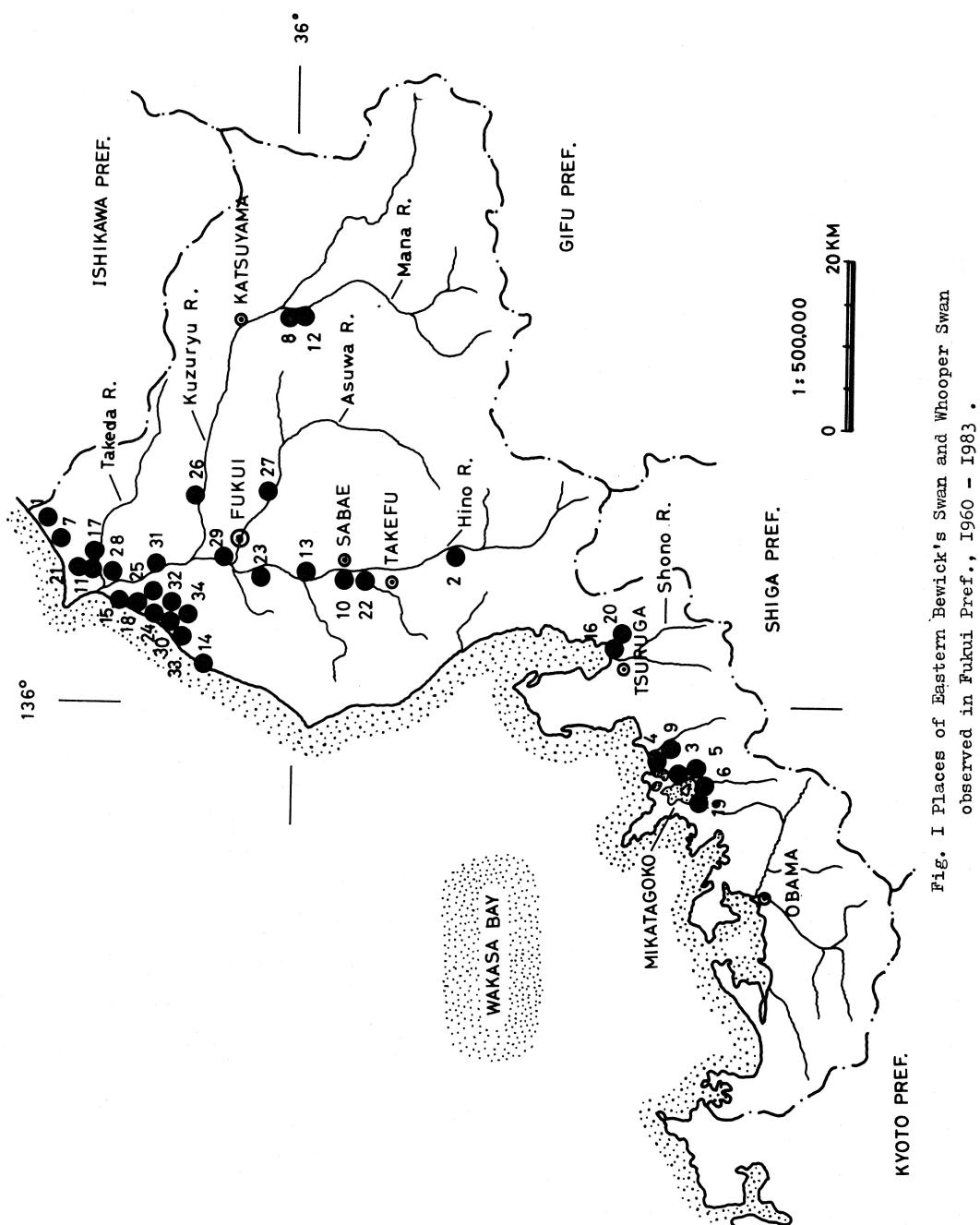


Fig. I Places of Eastern Bewick's Swan and Whooper Swan observed in Fukui Pref., 1960 - 1983 .

## (3) 月別の分布

34件の資料を月別にみると、10月から3月の間、6ヶ月間に認めることができた(図2。表3)，これは、全国各地のハクチョウの越冬、滞在期間と同じ傾向を示すものである(本田，1979)。

この6ヶ月間のうち11月及び12月に確認件数が多いのは、この時期にハクチョウの移動が多いことを示唆している。

## (4) ハクチョウの確認地籍の環境

34件の資料を環境類別すると(1)河川、(2)池、(3)湖、(4)海岸、(5)耕作地(6)その他となる(表4)。

河川では、日野川(福井市・鯖江市・南条町)、九頭竜川(丸岡町)真名川(勝山市)、笙ノ川(敦賀市)など8件(23.5%)、池では福井新港貯水池と加戸池(いずれも三国町)で9件(26.5%)、湖では菅湖・久々子湖(三方町)、北潟湖(芦原町)で7件(20.6%)、海岸では福井市義町の越前海岸で1件(ただし、本件は銃弾をあびて死亡したもの)、耕地(田圃)では足羽川流域(福井市)1件、九頭竜川流域(三国町)

1件、竹田川流域で2件、合計4件(11.8%)認められた。

飛翔中を観察された例についても、日野川流域(福井市・鯖江市・清水町)3件、九頭竜川流域(福井市)で1件、計4件(11.8%)確認されている。この耕地帯と飛翔中に観察された8件は、

Table 3 The seasonal change of Swan's data observed in Fukui Pref., 1960-1983.

Month	Number	Percentage
Oct.	1	2.9
Nov.	8	23.5
Dec.	10	29.4
Jan.	5	14.7
Feb.	5	14.7
Mar.	3	8.8
Unknown	2	5.9
Total	34	100.0

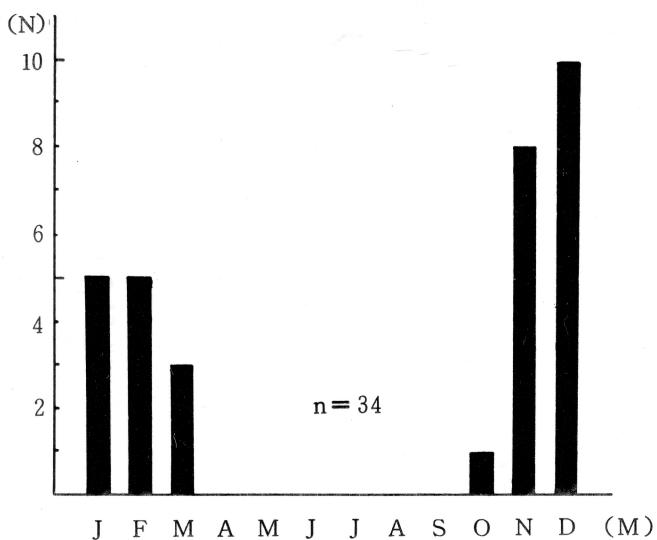


Fig. 2 The seasonal change of Swan data observed in Fukui Pref., 1960-1983.

いざれも河川流域で認められていることから、河川で確認された8件を併せると合計16件（47.1%）になり、資料総数のほぼ半数が河川とその流域で認められたことを示している。

また、昭和40年代から造成されてできた福井新港（三国町）の貯水池では、特に1982年秋から1983年にかけて、24羽+の群れが比較的長く留まり、この分裂群（？）と思われる群れが福井市や坂井郡および丹南地方の河川流域（九頭竜川・日野川・足羽川・竹田川など）でしばしば観察された。したがって、福井新港の貯水池のような環境でも（ただし、1983年3月以降かなり変容した）、その時期に狩猟や漁業などの人為的影響が過少で、安全度の高い場所ならばハクチョウは就棲地や休息場として利用できることを示唆している。

耕地帯で観察された例は、いざれも貯水状態となっている田圃に飛来し、採餌または休息していたものであり（福井市稻津・三国町覚善・請地・水居），秋～冬期の耕地帯でも湛水しておけば採食地や休息地に利用するものと思われる。

Table 4 Environments observed of Swan in Fukui Pref., I960 - I983 .

Place		Number	Total	Percentage
River	Hino R.	3		
	Mana R.	2	8	23.5
	Shono R.	2		
	Kuzuryu R.	I		
Pond	Fukui New Harbor's reservoir	8		
	Kato P.	I	9	26.5
Lake	Suga L.	4		
	Kugushi L.	2	7	20.6
	Kitakata L.	I		
Coast	Fukui-C. Mino ( Echizen Coast )	I	I	2.9
Rice Field	Takeda R.	2		
	Asuwa R.	I	4	II.8
	Kuzuryu R.	I		
Flying	Hino R.	3		
	Kuzuryu R.	I	4	II.8
Unknown		I	I	2.9
Total		34	34	100.0

## 考 察

福井県におけるハクチョウ類の主な渡来地は、上述の調査結果から(1)九頭竜川本流とその支流流域を中心とする地域と、(2)三方五湖を中心とする地域と考えられる。したがって、ハクチョウ類の保護はこれらの河川や湖沼環境を十分に保護し、あいまってこの周辺水域の湿地帯や湿田を保全することが肝要と思われる。

近年、九頭竜川や日野川などの河川改修が進行し、耕地帯でも乾田化が促進され、三方五湖でも護岸改修や周辺山林の開発が進められる中で(田辺、1983)，ハクチョウ類を含む本県の水鳥の棲息(越冬)環境は悪化をたどるばかりであると言えよう。

今後、まだ飛来してくれるハクチョウ類の保護のためには、これらの各種開発工事やその方法には鳥類を含む野生生物を配慮した施行法の確立と施策が強く関係各位に望まれる。

「水鳥の保護を考えるとき、彼らの生息地である湿地の保護を第1にあげなければならない。繁殖地を持つ国だけがそれを保護するだけでは不充分で、中継地・越冬地を持つ国々も協力しなければその保護の効果はあがらない」(松井、1982)ということである。

## 摘 要

- (1) 1960年以降の福井県内におけるハクチョウの記録を収集した結果、34件あったがこのうち25件(73.5%)がコハクチョウの記録であった。
- (2) これらの資料は、①河川及びその流域16件(47.1%)、②池9件(26.5%)、③湖7件(20.6%)、④海岸1件(2.9%)、その他の環境に分類できた。
- (3) 市町村別では三国町、三方町、福井市、鯖江市など10市町でハクチョウ類の分布を認めたことができた。
- (4) 本県におけるハクチョウ類の渡来期は10月から3月までであった。
- (5) 本県のハクチョウ渡来地の環境は、九頭竜川水系(本流・日野川・竹田川・足羽川・真名川)とその流域および三方五湖を中心とする地域と推察された。

## 文 献

- 芦野泉(1981). わなみと鳥取部. 歴史研究. 251号: 8-14.
- 福井県(1982). 福井県の鳥獣
- 福井新聞(1980): 2.21-2.22.
- 本田清(1979): 白鳥のいる風景. NHKブックス.
- 毎日新聞(1982): 11.6
- 松井繁(1982). ハクチョウのために自然環境の確保を. アニマ(No.117).
- 日本野鳥の会福井県支部(1979). 支部報No.32.
- 日本野鳥の会福井県支部(1980). 支部報No.40.
- 日本野鳥の会福井県支部(1981). 支部報No.41.

福井県におけるハクチョウ渡来地の分布と環境について

日本野鳥の会福井県支部(1982).支部報No.43およびNo.46.

田辺幹雄(1983).自然保護運動について,日本野鳥の会福井県支部報No.48.

附表

Appendix. Records of Swan observed in Fukui Pref., I960-I983.

No.	Date	Species	Number	Age	Place	Reporter	Note
I	I960?	Swan sp.	I	-	Awara(芦原町浜坂, 北潟湖)	I.Kumigashira	
2	I965?	"	I	-	Nanjo(南条町東大道, 日野川)	T.Monzen	
3	I969.I2.17	W.S*	-	-	Mikata(三方町菅湖)	Fukui Pref.(I982)	
4	I969.I2.18	W.S	-	-	Mikata( " 久々子湖 )	"	
5	I970. 3.19	W.S	-	-	Mikata( " 菅湖 )	"	
6	I970. 1.18	E.S*	4	-	Mikata( " " )	"	
7	I972.I2.12	E.S	3	-	Awara(地籍不明)	"	
8	I975. 2	E.S sp.	6	-	Katsuyama(勝山市遅羽真名川)	Fukui paper(2.2I)	
9	I977. 3.17	E.S	I	-	Mikata(三方町久々子湖)	Fukui Pref.(I982)	
I0	I978. 3.1	E.S	I3	-	Sabae(鯖江市日野川)	"	
II	I979. 2.II	E.S	4(AD:I, JU:3)	-	Mikuni(三国町覚善, 竹田川)	K.Ikezaki	
I2	I980. 2.I2	-	2.2I	E.S	5	Katsuyama(遅羽, 真名川)	Fukui paper(2.2I)
I3	I980. 2.2I	E.S	5 (AD:2, JU:3)	-	Sabae(鯖江市石田上町)	" (2.22)	
I4	" II.13	"	I	-	Fukui(福井市妻町)	S.Kozhima	
I5	" II. 7	"	6	-	Mikuni(福井市新港)	Z.Enomoto	
I6	I981 I.14	"	I ( JU:I )	-	Tsuruga(敦賀市笙ノ川河口)	Y.Hirose	
I7	" I.29	W.S	5 (AD:2, JU:3)	-	Mikuni(三国町水居, 竹田川)	Y.Kitagawa	
I8	I982. I.10	E.S	I2	-	" ( " 新保, 新港 )	Z.Enomoto	
I9	I982. I0.20	W.S	I	-	Mikata(三方町, 菅湖)	M.Tanabe	
20	" II. 4	"	I ( JU:I )	-	Tsuruga(敦賀市笙ノ川)	Mainichi P.(II.6)	
21	" II. 4	E.S	7	-	Mikuni(三国町加戸, 加戸池)	Y.Seki	
22	" II.18	"	4	-	Sabae(鯖江市有定, 日野川)	S.Hayashi(Flying)	
23	" II.20	"	3	-	Shimizu(清水町杉谷, 日野川)	" ( " )	
24	" II.25	"	9 (AD:2, JU:7)	-	Mikuni(福井新港)	Z.Enomoto	
25	" II.27	"	I5 (AD:7, JU:8)	-	" ( " )	"	
26	" I2. 6	"	9	-	Maruoka(丸岡町宇崎九頭龍川)	Y.Osawa	
27	" I2. 7	"	6 (AD:4, JU:2)	-	Fukui(福井, 足羽川)	H.Kishida	
28	" I2.12	"	6 (AD:4, JU:2)	-	Mikuni(三国町請地, 九頭龍川)	K.Ikezaki	
29	" I2.13	"	6	-	Fukui(地蔵堂町, 日野川)	"(Flying)	
30	" I2.19	"	24 (AD:I2, JU:I2)	-	Mikuni(福井新港)	Z.Enomoto	
31	" I2.24	"	II	-	Fukui(布施田, 九頭龍川)	K.Ikezaki(Flying)	
32	" I2.27-	-		-			
I983.I.9	"	24	-	-	Mikuni(福井新港)	Z.Enomoto	
33	" I.28	"	7	-	" ( " )	"	
34	" 2.I6-23	"	5	-	" ( " )	"	

E.S\*: Eastern Bewick's Swan

W.S\*: Whooper Swan